

ミズゴケ科

オオミズゴケ

Sphagnum palustre L.

兵庫県ランク… C

環境省ランク… —

■ 県内分布

県内各所

■ 国内分布

北海道、本州、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取	○	特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

県内ではやや普通種で、ため池や貧栄養の湿地、沢の源頭、あるいは山裾の水がしみ出す場所等に大きな群落を作って生育。



写真提供：秋山弘之

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

茎の長さ10cm以上に達し、頂端付近に多くの枝が集まり頭部を形成する。茎の表皮細胞には明瞭な螺旋状の肥厚があり、数個の孔があく。茎葉は舌形、先端はささくれる。枝葉は茎に対して丸くつき、長さ1.5-2mm、広楕円形、舟形に深く凹む。葉縁は内曲し、細かな目だたない歯がある。枝葉の透明細胞には数本の横線状の肥厚と、表面には数個の孔がある。枝葉の葉緑細胞と接する透明細胞の側壁面は平滑になる。枝葉の横断面で葉緑細胞は狭二等辺三角形、底辺は葉の腹面側にある。雌雄異株で蒴はまれ。山地の湿った地上や中間湿原に白緑色の大きな群落をつくる。